



校報

ゆりっこ

令和5年12月25日
由利本荘市立由利小学校
第16号
(校内特別号)

全国学力・学習状況調査結果と考察

※ 数値は正答率

5月に6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果が過日公表されました。本調査の結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ですが、本校の結果については詳しく分析し、今後の指導に生かしていきたいと思っております。ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。

範囲／教科	国語	算数
由利小		
秋田県	72	65
全国	67.2	62.5

由利小学校6年生調査結果の概要

全体概要	2教科とも全国平均をやや下回っており、「情報の扱い方」や「変化と関係の捉え方」の領域での県平均や全国平均との差が大きい。継続的な回復学習の成果は現れてきており、各種調査結果の年次推移から、学年が進むにつれて上昇傾向にあることがわかる。
国語	○「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」ことや「学年別漢字配当表に記されている漢字を文の中で正しく使う」ことをみる問題で正答率が全国平均を上回っている。 △「原因と結果など情報と情報の関係について理解する」「情報と情報との関係漬けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと」「日常よく使われる敬語を理解している」かをみる問題等の正答率で全国平均を下回っている。
算数	○「加法と情報の混合した整数の計算をしたり、分配の法則を用いたりすることができる」「算数の用語を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができる」かをみる問題の正答率で全国平均を上回っている。 △「伴って変わる二つの数量の比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えをしきや言葉を用いて記述できる」ことを測る問題等の正答率で全国平均を下回っている。
質問紙	○基本的な生活習慣（朝食・貴重など）や、「地域行事への参加」「将来の夢や目標をもっているか」「学校に行くのが楽しい」「人が困っているときは、進んで助けていますか」等の質問に対して全国平均よりも肯定的な回答が多い。 △携帯電話、スマートフォンやコンピュータを持っている児童の使用時間が長く、全国平均を上回っている。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した割合が全国平均を下回っている。

※裏面に由利本荘市の全国学力・学習状況調査の結果を掲載しています。調査の内容、問題の領域等、詳細についてはそちらをご覧ください。